

Novel, Challenge and Change
All Activities for Cancer Patients

最善のがん薬物療法の実践を目指して



国立がん研究センター

薬剤師レジデント がん専門修練薬剤師募集 (令和8年度)



国立研究開発法人

国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

<http://www.ncc.go.jp/>

- 2 沿革／設立の目的とその使命
- 4 薬剤師レジデント制度について
- 5 薬剤師レジデント研修過程の内容
- 7 研修に関するQ&A
- 8 チーム医療に貢献する薬剤師
- 10 研修スケジュール
- 11 薬剤師レジデントの生活
- 12 薬剤業務
- 14 がん専門修練薬剤師の創設
- 16 募集要項(薬剤師レジデント)
- 18 募集要項(がん専門修練薬剤師)
- 20 薬剤師レジデントより
- 24 がん専門修練薬剤師より
- 27 交通情報

設立の目的とその使命

戦後、日本人の疾病構造が変化し、「がん」による死亡が増加し、その傾向はさらに強まることが予測されたため、国として、国民の医療・保健対策上の見地から、がん対策の中核として総合的な「がんセンター」の必要性が強く認識されました。そこで、1960年、当時の日本医学会会長、田宮猛雄氏ら9名の学識経験者からなる国立がんセンター設立準備委員会が発足し、「国立がんセンター」のあり方、将来構想など重要事項について検討し、厚生大臣宛に意見具申書を提出しました。それに従って、1962年2月1日、「国立がんセンター」が正式に発足しました。その目的は、東京に理想的ながんセンターを設立して全国的ながん施策の中核にすることでした。

その後、1992年に千葉県柏市に国立がんセンター東病院が設立され、1994年には、東病院に隣接して研究所支所、2004年には、がん予防・検診研究センターが築地キャンパスに設立され、翌2005年には柏キャンパスの東病院の中に研究所支所の組織を改め臨床開発センターが活動を開始しました。さらに2006年10月には築地キャンパスにがん対策情報センターが設立され、より一層施設の拡張と充実がなされ、病院、研究所が一体となって予防、診療、研究、研修、情報収集・発信の分野において、我が国のがん施策の中心的な役割を果たして来ました。国立がん研究センターは、我が国のみならず、世界的ながん対策の中核的な施設として、人類の悲願である「がん克服」に向けて、全力で取り組んでおります。



設立時の建物



外来診療棟竣工(昭和53年)



研究棟竣工(昭和56年)



東病院(平成4年)



中央病院新棟竣工(平成10年)



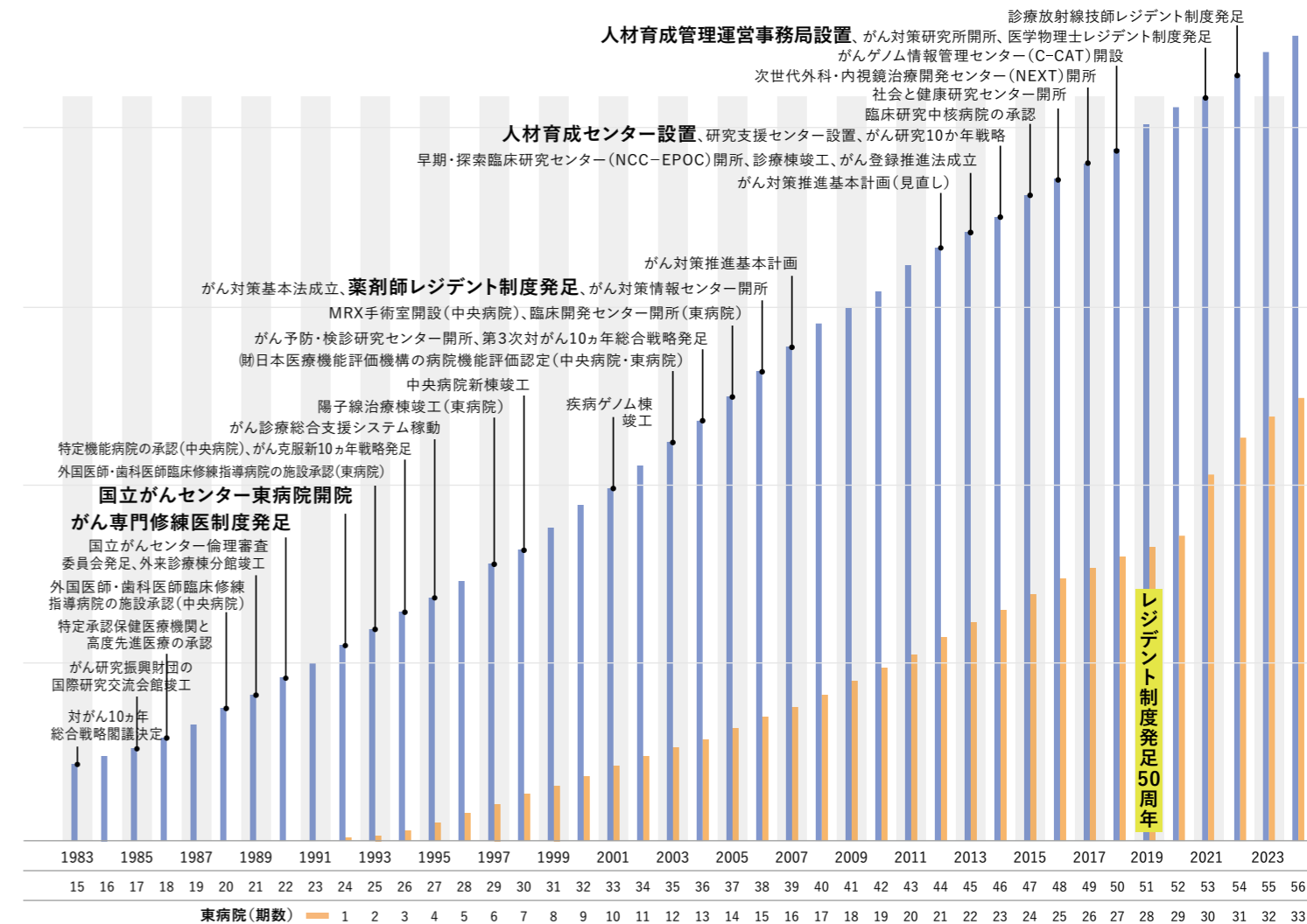
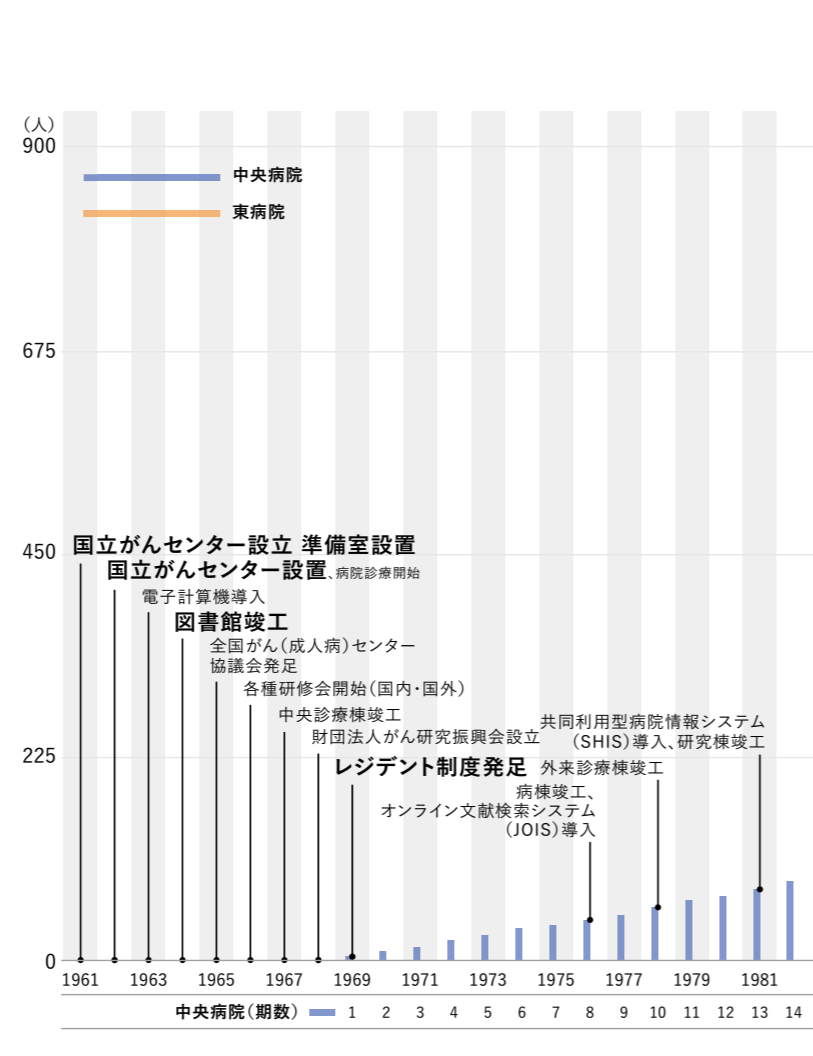
診療棟(平成25年)



「癌」の文字から「疝(やまいだれ)」を取り除き「巽」とし、それを図案化したものです。昭和45(1970)年

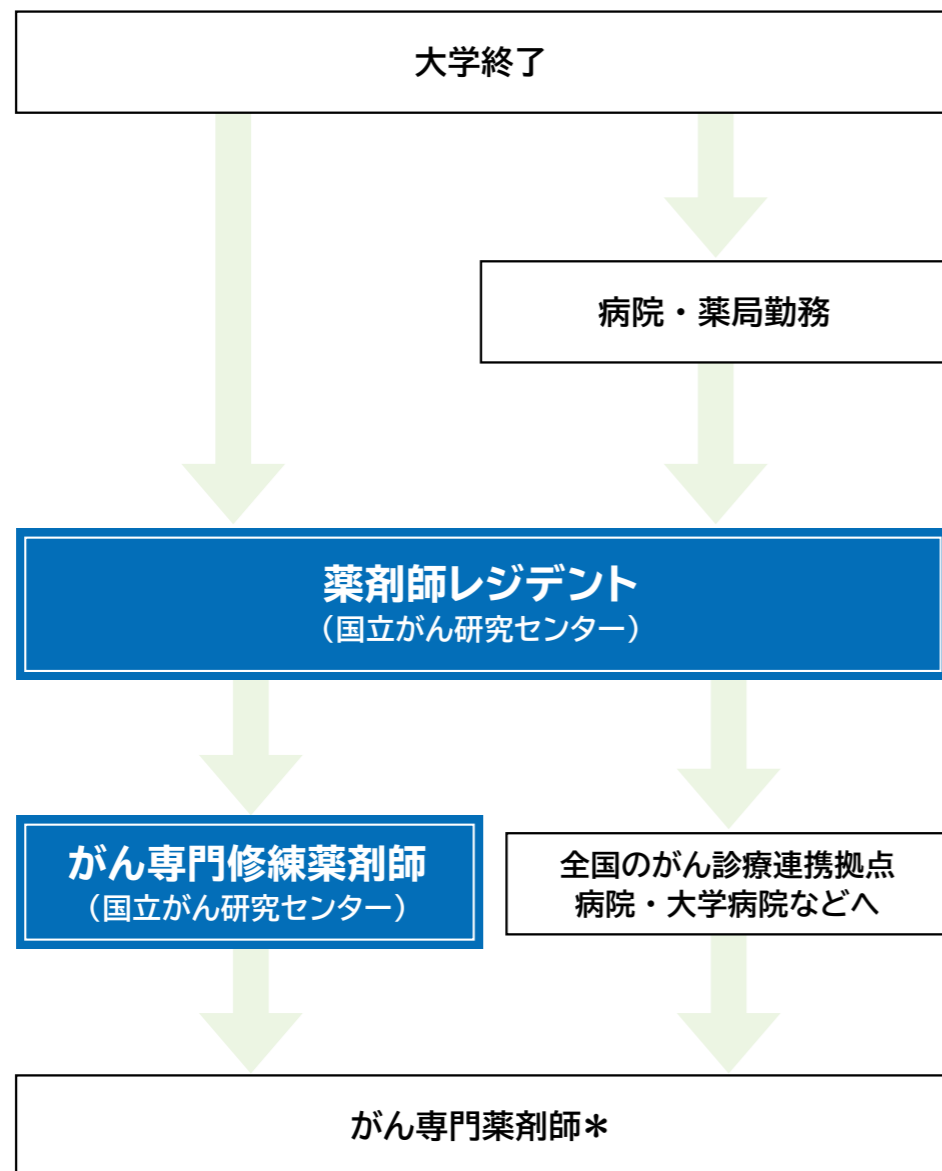
シンボルマークの内側の3つの輪は、「1. 世界最高の医療と研究を行う」「2. 患者目線で政策立案を行う」という理念に基づき、「(1) 臨床」「(2) 研究」「(3) 教育」を表しています。外側の大きな輪は「患者・国民の協力」を意味します。

レジデント制度50年のあゆみ



薬剤師レジデント制度について

「がん(悪性新生物)」は、1981年以降、わが国の死因の第一位であり、現在、がん医療の進歩・向上に対する社会からの期待は非常に高いものとなっています。国立がんセンターは1962年に創設されてから、これに応えるためがん専門の医療従事者の育成を行ってきました。我々薬剤師も専門的なチーム医療の担い手として、がん薬物療法における抗がん剤の治療効果に関する知識や安全な調製技術を有する専門性の高い薬剤師を育成する必要性が高まりました。2006年に薬剤師6年制教育が開始されると同時に、当センターでは薬剤師レジデント制度をスタートさせ、今年で20年目を迎えます。薬剤師レジデント制度では、3年の研修期間において、指導薬剤師のもと薬剤業務や病棟業務に従事しながら、知識や技能を修得するとともに、患者との意思疎通およびチーム内の他職種と連携を図るためのコミュニケーションスキルも身につけることを目的としています。これらを通じて、抗がん剤調製やがん薬物療法、緩和医療など高度な技能と知識を持つがん医療に精通した専門薬剤師を養成します。国立がん研究センター中央病院及び東病院は、日本医療薬学会のがん専門薬剤師研修施設及び日本病院薬剤師会のがん薬物療法認定薬剤師研修施設に認定されており、当院でのレジデントとしての3年間の勤務期間は、その研修期間に相当します。これまでに、17期生までがこの制度を修了し、それぞれ医療の第一線で活躍しているところですが、将来のがん医療を発展させ、国民・患者の期待に応えるためには、さらに多くの有為な人材が不可欠であり、志ある薬剤師がこの道を目指して頂くことを期待しています。



*認定要件の例：がん専門施設で5年の研修，50症例の経験，学会発表または論文発表が必要となります。

薬剤師レジデント研修課程の内容

【薬剤師レジデントの研修目標】

Vision：臨床・研究・教育、各分野でリーダーシップが発揮出来るトップレベルの薬剤師による医療サービスの提供を通じて世界トップクラスのがんセンターを目指す

【薬剤師レジデント研修課程における到達目標】

(例：消化管内科)

1. 胃癌、食道癌、大腸癌の疫学が理解できる
2. 胃癌、食道癌、大腸癌の発生部位と関連した臨床症状が理解できる
3. 胃癌、食道癌、大腸癌の診断・治療導入時から終末までの一連の流れ (Natural Course) が理解できる
4. 胃癌、食道癌、大腸癌の病期別の治療方針が理解できる
5. 胃癌、食道癌、大腸癌の臨床症状に対応するための処置について理解出来る
6. 胃癌、食道癌、大腸癌のレジメン内容を理解し適正な投与量を確認出来る
7. 上記1～6をふまえ、患者に平易な言葉でわかりやすく説明できる
8. 化学療法以外の支持療法も含む薬剤の適切な使用法を確認できる
9. 患者の問題点を抽出し最優先事項を判断し、優先順位に沿った対応ができる
10. 患者の状況について本人ならびに他職種から情報収集でき、薬学的観点からのアセスメントができる
11. 入院治療から外来治療への移行をサポートすることができる
12. EBMの手法にのっとった批判的吟味ができ、消化管内科カンファレンスで簡潔なプレゼンテーションができる

【研修内容】

●業務を通じた研修

病棟業務、外来業務、注射薬混合調製、麻薬管理、薬剤管理指導業務、外来化学療法業務、緩和ケア、医薬品情報管理業務、TDM等

●講義による研修

がんの基礎知識、化学療法、支持療法、緩和医療、がん領域の臨床薬理など。その他、薬剤部勉強会、院内で行われる各種セミナー、緩和医療・栄養管理・医療安全・感染対策の勉強会に参加します。

【研修期間】

3年間

【年間スケジュール】

1年目

抗がん剤調製や麻薬の薬剤管理等の薬剤業務の基本を修得するとともに、薬剤部勉強会、院内のカンファレンスや勉強会等に参加し、がん薬物療法の基礎を学びます。

2・3年目

病棟業務や外来業務を通じてがん医療の臨床経験を積むことにより、がん専門薬剤師として必要な知識、技能を修得します。

この他、各レジデントは研究テーマを見つけ、毎年中央病院・東病院薬剤師レジデント合同報告会での発表を行い、また関係学会での発表や論文を投稿することが奨励されています。

研修に関する Q&A

【充実した講義研修】

がん専門薬剤師研修のための講義を聴講することが可能です。表は令和6年度に行われた研修の日程表です。

	講義日	講義内容	講師(敬称略)	形式
1	1月29日(水)	頭頸部・食道がん	腫瘍内科医	会議室+Web
2	1月30日(木)	精神腫瘍	精神腫瘍科医	Web
3	2月4日(火)	大腸がん	腫瘍内科医	会議室+Web
4	2月12日(水)	小児がん	小児腫瘍科医	Web
5	2月18日(火)	白血病	血液腫瘍科医	会議室+Web
6	2月19日(水)	肺がん	腫瘍内科医	会議室+Web
7	2月25日(火)	緩和医療(薬物療法)	緩和医療科医	会議室+Web
8	2月26日(水)	泌尿器がん(化学療法)①	腫瘍内科医	会議室+Web
9	2月27日(木)	胃がん	腫瘍内科医	会議室+Web
10	2月28日(金)	婦人科がん	腫瘍内科医	会議室+Web
11	3月3日(月)	悪性リンパ腫	血液腫瘍科医	会議室+Web
12	3月5日(水)	造血幹細胞移植、GVHD管理	移植科医	会議室+Web
13	3月12日(水)	乳がん①	腫瘍内科医	会議室+Web
14	3月13日(木)	泌尿器がん(化学療法)②	腫瘍外科医	会議室+Web
15	3月18日(火)	肝・胆・膵がん(化学療法)	腫瘍内科医	会議室+Web
16	3月19日(水)	乳がん②	腫瘍内科医	会議室+Web

【講義形式】

ZOOMによるWEBまたは会議室での対面講義形式+ ZOOMによる講義配信



Q 研修の特徴は何ですか？

A 全国に先駆けて導入した薬剤師レジデント制度は今年17期生を迎えました。多くの指導者が専門資格を取得し、10年以上にわたるレジデント指導実績の下、調剤技術から薬剤管理指導業務まで、がんに関する専門知識の習得を目指します。薬剤師だけでなく医師、看護師など他職種との連携を通じて多くのことを学ぶことができます。

Q 研修カリキュラムはどの様になっていますか？

A 3年間のカリキュラムとなっています。2年目までは、調剤業務などを行いつつ薬剤管理指導業務を実施します。この期間の薬剤管理指導業務は、2.5ヶ月程度でローテーションしながら複数の診療科で研修を行います。3年目は希望の診療科で終日薬剤管理指導業務を行い、臨床能力にさらに磨きをかけます。

Q がん医療に関わった経験が少なく、がん専門病院での研修に不安があります。

A 当院のロゴマークにもあるように、国立がん研究センターの目標は世界最高水準のがん診療、最新の治療研究・開発、そして優れたがん医療教育の提供にあります。実際、当院で研修を開始される時点ではほとんどがん治療に関する知識、技術がない方も、研修終了時にはがん医療に従事する薬剤師として独り立ちできるまでに成長します。

Q レジデントの給料はどのくらいですか？

A 薬剤師レジデントの規程に基づき、支給されます。部屋の空き状況によりますが、病院に直結した単身宿舍(有料)を借りることができるため、家賃負担が軽減されています。
(月額) 1年目 281,900円 2年目 290,900円
3年目 299,000円

Q 教育環境について教えてください。

A 抗がん剤治療の件数は1日200件に昇り、全国トップクラスの取扱件数を誇ります。そのため調剤経験はもとより薬剤管理指導においても多くの癌種・症例に触れることが可能です。また、年間100を超える講義・セミナーが開催されているほか、薬剤部独自の勉強会も毎月行っており、レジデントだけでなく薬剤部員の教育研修にも力を入れています。

Q レジデント終了後の進路は？

A レジデント修了後、さらに専門性を高めたい方には2年間のがん専門修練薬剤師コースに進むことができます。レジデントの就職先としては、がん専門施設を初め各大学、地域のがん診療連携拠点病院に異動し、それぞれの立場でがん医療に携わっている方が多くいらっしゃいます。

Q 研究や学会活動について教えてください。

A 研修中、学会発表、論文作成、臨床研究などならかなの学術活動を行うことが奨励されています。日常業務から生じた疑問をまとめ研究として発表する場として、中央病院と東病院で年1回合同報告会を実施しています。研究の内容によっては国内外の学会に発表することができます。

Q がん以外の疾患を学ぶことができますか？

A がん以外の疾患の勉強は外部の勉強会で学ぶことができます。また、他の国立病院機構病院との人事交流を行っていますのでレジデント終了後に他の総合病院でがん以外の疾患を学ぶことも可能です。

薬剤師レジデント・がん専門修練薬剤師



血液／造血幹細胞移植科



消化管内科／頭頸部・食道内科



脳脊髄腫瘍科



腫瘍内科



骨軟部腫瘍科



泌尿器後腹膜腫瘍科



小児腫瘍科



肝胆膵内科



呼吸器内科



緩和ケア

研修スケジュール

【中央病院】

	1年目(4~3月)												2年目(4~3月)												3年目(4~3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
オリエンテーション	■																																			
調剤・注射調剤 *1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
治験・臨床試験薬調剤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
注射混合調剤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
麻薬服薬指導	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
病棟薬品管理	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
医薬品情報管理・TDM	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
病棟薬剤業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
外来化学療法ホットライン	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
薬剤管理指導 *2	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
薬剤部カンファレンス	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
薬剤部ゼミ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
症例報告会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
合同報告会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
習得試験・評価	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
日当直補助	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

* 1 院内製剤を含む

* 2 2年修了時まで呼吸器、血液/移植、消化器、乳腺、肝胆膵を約2ヶ月ごとローテーション。3年目は診療科を固定

【東病院】

	1年目(4~3月)												2年目(4~3月)												3年目(4~3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
オリエンテーション	■																																			
調剤・注射調剤 *1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
病棟薬剤業務 *1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
注射混合調剤 *1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
外来化学療法の薬剤管理指導 *1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
医薬品情報管理・レジメン管理 *1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
治験・臨床試験 *1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
薬剤管理指導 *2		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
薬剤部カンファレンス		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
合同報告会		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
内科医合同カンファレンス		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
習得試験		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
日当直補助		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

* 1 2~4ヶ月ごとのローテーション。

* 2 2年修了時まで呼吸器、消化器、肝胆膵、血液、緩和、頭頸部を3ヶ月ごとにローテーション。3年目は診療科を固定。

薬剤師レジデントの生活

【中央病院・東病院1年目のレジデントの1週間(例)】

中央病院				
月	8:30	11:30	12:30	17:15
火	処方調剤 注射調剤・注射混合調製 麻薬調剤 レジメン管理	昼休み	医薬品情報	薬剤師研修・講義研修 (9月~3月)
水				症例検討会
木				※
金				※
土	※	勉強会参加		
日	※			

東病院				
月	8:30	11:30	12:30	17:15
火	処方調剤/注射調剤 注射剤混合調製	昼休み	処方調剤/注射調剤 注射剤混合調製	薬剤師研修・講義研修 (9月~3月)
水				※
木				内科医合同カンファレンス
金				※
土	※	勉強会参加		
日	※	※	※	

■ がんセンター内部での業務など ■ がんセンター外部 ※ 日当直または補助業務

【レジデントを支える施設】



中央病院



東病院

図書館

図書館では、国内外のがん対策の推進を支援するため、がんに関する資料を広く収集して利用者へ提供するほか、オンラインによる文献検索サービスも実施しています。

薬剤業務

■ 調剤業務



●入院調剤 ●外来調剤

内服・外用薬・麻薬の調剤と窓口で使用方法や副作用について患者さんにわかりやすく説明します。



●麻薬の使用方法について説明 ●院外処方箋疑義照会応需

■ 注射業務



●注射薬調剤 ●レジメンの確認

注射薬の調剤と抗がん剤の混合調製を行います。抗がん剤治療についてはレジメンの内容を確認しています。



●抗がん剤混合調製

■ 薬剤管理指導業務

- 乳腺・腫瘍内科
- 肝胆膵内科
- 消化管内科
- 通院治療センター
- 呼吸器内科
- 小児腫瘍科
- 緩和医療科
- 骨軟部腫瘍科
- 血液化学療法科
- 泌尿器・後腹膜腫瘍科
- 血液腫瘍科・造血幹細胞移植科



■ 医薬品情報管理業務



●医薬品情報の収集・整理 ●治療薬物モニタリング
●情報の加工・提供

医薬品に関する情報を収集し、医療者が使いやすい形に加工し提供します。抗がん剤治療のレジメン登録の事務局業務を担います。



●レジメン管理・登録

■ チーム医療への参画



●感染対策チーム：ICT ●褥瘡対策チーム
●栄養管理対策チーム：NST ●外来がん薬物療法患者サポート
●緩和ケアチーム：PCT

■ 外来薬剤師業務



●薬剤師外来 ●外来化学療法ホットライン
●通院治療センター

■ 医療連携



●業連携 ●地域がん治療研修会

■ 治験管理業務

- 治験管理室との連携
- 治験薬管理と調剤・調製

■ 医薬品管理業務

- 医薬品在庫管理
- 麻薬管理
- 手術室医薬品管理

■ 製剤業務

- 一般製剤調製
- 院内特殊製剤調製
- 製剤品質試験

がん専門修練薬剤師（チーフレジデント）制度の創設

■中央病院におけるがん専門修練薬剤師制度について

がん領域における人材養成は当院の重要な使命であり、臨床能力の高い薬剤師の育成が社会的にも強く求められていることから、国立がん研究センター薬剤部では、この領域における高い専門性と臨床能力を持った薬剤師の教育に力を入れてきました。そのために当院では、薬剤師教育6年制が導入された2006年に薬剤師レジデント制度を創設し、指導薬剤師のもとで病院薬剤業務の基本とがん薬物療法に関する基礎から臨床までの幅広い知識・技能を習得し、患者や他職種とのコミュニケーションスキルを身に付けた、がん医療に精通した薬剤師の養成を図っています。

しかし、近年のがん薬物療法の急速な進歩に伴い、病院薬剤師の業務が質・量ともに大きく変化してきたことから、今般、現行の薬剤師レジデント制度を発展させ、病院薬剤師の臨床能力を更に高め、チーム医療や臨床研究への関わりを一層深めることを目指した「がん専門修練薬剤師（チーフレジデント）制度」を2014年4月に開始することとしました。

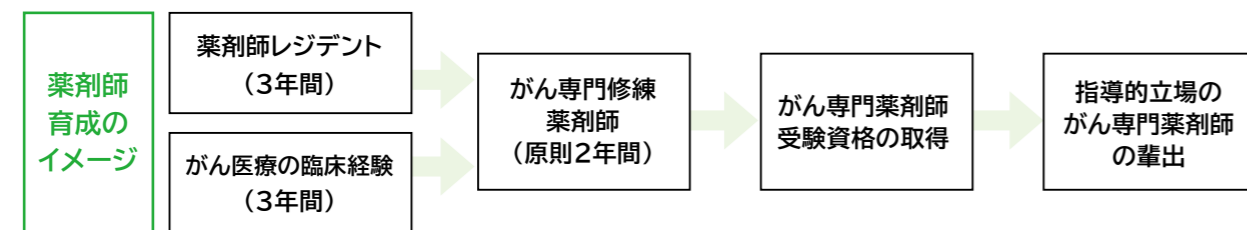
今後、薬剤師レジデント制度とがん専門修練薬剤師制度とを一体的に運用することで、日本医療薬学会がん専門薬剤師の認定要件である認定研修施設におけるがん薬物療法の5年間の研修実績を積むことが可能になるのみならず、がん領域における指導的立場の薬剤師を育成し、全国のがん診療連携拠点病院に配置していくという当院のミッションに照らしても、両制度はわが国のがん医療にとって重要な一歩であると考えています。この新たな制度が志ある薬剤師にとってよき研鑽の場となり、がん医療について高度な知識と幅広い臨床経験を兼ね備えた専門薬剤師の輩出につながることを大いに期待しています。

■東病院におけるがん専門修練薬剤師制度の特徴

薬剤師レジデント制度は、病院薬剤業務の基本的技術を修得するとともに、がん薬物療法に関する臨床および基礎の幅広い知識と技術の修得を図り、がん医療に精通した薬剤師の養成を目的としています。調剤や注射薬などの払出業務、混注業務に加え、薬剤管理指導業務をレジデント1年目より開始して、薬剤師としての一般的な知識と技能、そしてがん医療における薬剤師の役割と各診療科における標準的治療などを並行して習得するカリキュラムが東病院の特徴です。3年目では診療科への連携を強化し、処方支援、処方薬の説明・指導や副作用のモニタリングなどを支援しながら診療のパートナーとしてチーム医療への関わりを深めています。

「がん専門修練薬剤師」はチーム医療への関わりを把握したうえで、臨床研究への関わりを深めることを目的としています。薬剤師は臨床研究のパートナーでもあります。Clinical Questionを臨床研究に発展させて、多くのエビデンスが創出されることを期待しています。

がん専門修練薬剤師（チーフレジデント）制度（平成26年度より開始）



■各コース紹介

●薬物動態学／薬力学（PK／PD）臨床研究コース

がん医療において、抗がん薬による薬物療法は集学的治療の3本柱の一つです。最近では分子標的薬の開発により、対象となるポピュレーションの拡大等の面で大きな変化を遂げている反面、個別投与設計ではまだまだエビデンスが不足しています。特に、高齢者など臓器機能が低下している場合や臓器機能障害がある患者においては、薬物療法の中心である殺細胞性薬の選択肢が狭められる一方で、イマチニブに代表される分子標的薬は、PKが直接治療効果に結びつくなど、近年いくつかの興味ある報告がなされ、TDM（薬物治療モニタリング）が行われています。中央病院薬剤部ではこれまで、いろいろな抗がん薬について臨床医と協力して前向きPK／PD研究に取り組み、エビデンスを構築してきました。本コースでは、さらに国立がん研究センター研究所との連携を図り、これまで培ってきたPK／PD研究のノウハウにPharmacogenomicsの概念を加えたリバー

ス・トランスレーショナル・リサーチ（rTR）に進んでいく予定です。薬物代謝酵素やトランスポーターの機能解析なども視野に入れ、後期治療開発に資するrTRを是非一緒に行いましょう。

年間スケジュール	4	5	6	7	8	9	10	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	1	2	3
固定診療科にてチーム医療の実践																						
薬剤部ゼミで研究コンセプト披露																						
臨床研究プロトコル作成																						
倫理審査委員会にてプレゼンテーション																						
臨床研究																						
米国臨床腫瘍学会などにチャレンジ※																						

●造血幹細胞移植科専門コース（中央病院）

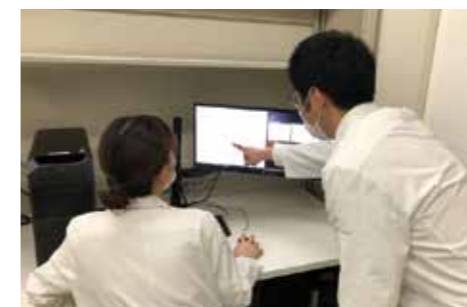
造血幹細胞移植療法は自家・同種合わせて年間5,000人以上の患者さんがその恩恵を受けています。移植前処置の抗がん剤は「超大量」であり、副作用の頻度、重症度も通常とは大きく異なります。また、移植後GVHD（移植片対宿主病）の症状コントロールも簡単ではなく、長期間に渡って「くすり」との付き合いが余儀なくされます。

私たち薬剤師の務めは、科学的根拠に基づいた「標準的な」治療の実践は当然であり、さらなる α （プラスアルファ）、つまり患者さんの様々な背景を踏まえ、薬理学や薬物動態学といった「薬学」を土台にした薬物治療の提案を行っていくことです。それができてこそ真のスペシャリストとして認められます。私たちの α が吹き込む風は移植成績の向上に必ず繋がります。しかし本邦ではまとまった症例を経験することが難しく、臨床経験豊富な「指導者」はそれほど多くいません。

欧米ではBMT Pharmacistは難関であり、人気も高いといわれています。ぜひ日本の薬剤師も負けていないことを一緒に示していきましょう。



●支持療法コース（東病院）



国立がん研究センター東病院は24床のPCU病棟と国内では数少ない精神腫瘍科を有するがん専門病院です。当コースは患者の全人的苦痛の緩和を目的とした薬学的アプローチの実践とその研究を目的としており、緩和ケアチームやPCU病棟での薬剤師活動とそれを土台にした臨床研究を行ってもらう予定です。精神腫瘍科の協力により、抑うつやせん妄など精神的苦痛に関する臨床研究も可能です。当院は地域医療への介入研究を行っていた実績があり、在宅医療の分野でも薬剤師の新たな業務を模索することが出来ます。しかし、薬剤師の新規業務を確立させるためにはそのエビデンスの創出が必要です。当院の様々な医療資源を用いることで出来る研究は多数あります。がん医療に寄与できる新しい薬剤師業務の構築にあなたも携わってみませんか。

●固形腫瘍診療科固定コース

国立がん研究センターでは、5大がん種（乳がん、肺がん、大腸がん、肝がん、胃がん）以外にも、頭頸部がんや膵がん、骨軟部腫瘍（肉腫）、血液がん（悪性リンパ腫など）、小児がんとさまざまながん種について専門性の高い診療を行っています。既存のレジデント制度では、まず、基本的に5大がん種についての薬学的管理介入を中心にカリキュラムが組まれますが、本コースは、こうした希少疾患に対しても薬学的管理介入を実践できる貴重なコースとなっています。また、5大がんのなかで、がん専門修練薬剤師を卒業したのちに中心的にマネジメントしなければならない領域が決まっている方には、そのがん種において重点的に薬学的管理介入を実践していただけるコースでもあります。研修期間中にはリサーチマインドも養っていただくなど、がん領域において指導的立場の薬剤師となつていただくためのノウハウを学ぶことができます。本コースは、中央・東の交流も可能です。皆さんニーズに合わせたプラン設計が可能ですので、相談していきましょう。



募集要項（中央病院・東病院）・薬剤師レジデント

1. 応募資格

平成28年3月以降大学を卒業した薬剤師免許取得者、または、令和8年3月卒業見込みで薬剤師免許取得見込みの者。

2. 募集人数（予定）

中央病院 7名
東病院 7名

3. 出願手続

I. 願書受付 中央病院・東病院それぞれ下記あてに郵送して下さい。
封筒の左隅に「薬剤師レジデント願書」と朱書きして下さい。

【中央病院 送付先】
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院
人材育成センター専門教育企画室

【東病院 送付先】
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1
国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院
人材育成センター専門教育企画室

II. 締切日 中央病院 令和7年4月18日（金）必着
東病院 未定

III. 必要書類 a. 願書（所定様式）
b. 薬剤師免許の写し（A4判に縮小）
c. 大学の卒業（見込）証明書または大学院修了書の写し（A4判に縮小）
d. 在職証明書（大学院の在籍証明書も可）
e. 成績証明書（薬学部生のみ）

4. 選抜方法

（中央病院）書類審査、筆記試験および面接試験
（東病院）書類審査、筆記試験および面接試験

5. 選考日時

（中央病院）筆記試験および面接試験（現地）：2025年（令和7年）5月1日 午前9時から
（東病院）筆記試験および面接試験（現地）：2025年（令和7年）5月頃
*日程が確定次第HPに掲載致します。

6. 選考会場

（中央病院） 国立がん研究センター 中央病院管理棟会議室
東京都中央区築地5-1-1
（東病院） 国立がん研究センター 東病院会議室
千葉県柏市柏の葉6-5-1

7. 合格発表

試験日より3週間後頃を予定 ※採否は郵送にて通知します。

8. 身分

常勤職員（薬剤師）

9. 勤務

薬剤師レジデント研修課程（中央病院、東病院）に基づき、指導薬剤師のもと、薬剤業務および病棟業務に従事します。
（日当直または補助業務を含む）

10. 処遇等

I. 手当 薬剤師レジデント（常勤職員）の規定に基づき支給されます。
II. 保険 社会保険（厚生年金・雇用保険）に加入します。
III. 宿舍 （中央病院）単身者用の宿舍（有料）を、空き状況により利用できます。
（東病院）単身者用の宿舍（有料）を、空き状況により利用できます。
IV. 修了 所定の研修修了時に修了証書を交付します。

11. 説明・見学会

（中央病院） 現地開催 : 令和7年3月28日（金）13時～16時
（東病院） オンライン開催 : 令和7年3月27日（木）18時～
現地開催 : 令和7年4月10日（木）14時～

※説明・見学会へ参加される方は、参加希望会場、氏名、現住所、所属（施設名または大学名）、連絡先を事前にお知らせください。

説明・見学会参加の連絡先

国立がん研究センター 中央病院・東病院
人材育成センター専門教育企画室専門教育企画係
E-mail（中央病院）：koyoiku-resi@ncc.go.jp
E-mail（東病院）：kashiwa_kyoren@east.ncc.go.jp

募集要項 (中央病院・東病院)・がん専門修練薬剤師 (チーフレジデント)

1. 応募資格

- (1) 国立研究開発法人国立がん研究センター薬剤師レジデント研修を修了した者、または令和7年3月に同研修を修了見込みの者
- (2) (1)に相当する学識を有する者で、令和8年4月1日時点で原則として3年以上のがん領域における臨床経験を有する者

2. 募集人数 (予定)

中央病院 1名
東病院 1名

3. 出願手続

- I. 願書受付 中央病院・東病院それぞれ下記あてに郵送して下さい。
封筒の左隅に「がん専門修練薬剤師願書」と朱書きして下さい。
- 【中央病院 送付先】
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院
人材育成センター専門教育企画室
- 【東病院 送付先】
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1
国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院
人材育成センター専門教育企画室
- II. 締切日 令和7年10月中旬 必着
- III. 必要書類 a. 願書 (所定様式)
b. 上司または指導者の推薦書 (所定様式)
c. 薬剤師免許の写し (A4判に縮小)

4. 選抜方法

書類審査、筆記試験および面接試験

なお、応募者が多数の場合は書類にて一次選考を行います。

5. 選考日時

(中央病院) 令和7年11月頃
(東病院) 令和7年11月頃

6. 選考会場

- (中央病院) 国立がん研究センター 中央病院管理棟会議室
東京都中央区築地5-1-1
- (東病院) 国立がん研究センター 東病院会議室
千葉県柏市柏の葉6-5-1

7. 合格発表

令和7年12月初旬 ※採否は郵送にて通知します。

8. 身分

常勤職員 (がん専門修練薬剤師)

9. 勤務

がん専門修練薬剤師研修課程 (中央病院、東病院) に基づき、指導薬剤師のもと、より専門性の高い病棟・外来業務や研究に従事します。(日当直または補助業務を含む)

10. 処遇等

- I. 手当 がん専門修練薬剤師 (常勤職員) 手当の規定に基づき支給されます。
- II. 保険 社会保険 (厚生年金・雇用保険) に加入します。
- III. 宿舍 (中央病院) 単身者用の宿舍 (有料) を、空き状況により利用できます。
(東病院) 単身者用の宿舍 (有料) を、空き状況により利用できます。
- IV. 修了 所定の研修修了時に修了証書を交付します。

11. 説明・見学会

- (中央病院) 現地開催 : 令和7年3月28日 (金) 13時~16時
(東病院) オンライン開催 : 令和7年3月27日 (木) 18時~
現地開催 : 令和7年4月10日 (木) 14時~

※説明・見学会へ参加される方は、参加希望会場、氏名、現住所、所属 (施設名または大学名)、連絡先を事前にお知らせください。

説明・見学会参加の連絡先

国立がん研究センター 中央病院・東病院
人材育成センター専門教育企画室専門教育企画係
E-mail (中央病院) : kyoiku-resi@ncc.go.jp
E-mail (東病院) : kashiwa_kyoren@east.ncc.go.jp



国立がん研究センター中央病院
青木 美紀 (東京都出身)

私は親戚ががんで亡くなったことをきっかけに、がんに興味を持つようになりました。また、大学5年次の実務実習を通して、患者さんに寄り添うことのできる薬剤師になるためには自分の専門性を高めることが必須であると感じました。私が当院のレジデントを志望した理由は、がん治療に精通した薬剤師となるための環境が整っており、治験や研究活動などトップレベルのがん医療に関わることができる機会が多いと感じたからです。当院のレジデント制度では、1年目にセントラル業務を行うことで、2年目からの病棟での業務の基礎固めを行うことができます。レジデント生活を通して、実務実習中にお世話になった先生方や当院の先生方のように高い専門性を持ち、患者さんに寄り添うことのできる薬剤師になれるよう日々精進していきたいと思っています。



国立がん研究センター中央病院
阿部 麗菜 (岩手県出身)

私はチーム医療の一員として、がん薬物治療における個別化医療を実践できる薬師になりたいと思っています。高度ながん治療が行われる環境で、多職種とディスカッションしながら薬剤師として高いレベルで成長したいという思いから、当院を志望しました。

多様な背景をもつ患者さんに臨床試験で決められた量の抗がん薬を投与すると、その薬物応答には大きな個人差が生じます。それぞれの患者さんの特性に合ったがん薬物治療を行うためには、高いレベルの知識、臨床で生じた問題を科学的に考える力、そして幅広い臨床経験が必要だと考えています。当院ではセントラル業務や病棟業務だけでなく、これらの日々の業務の中で見つけた疑問を研究に繋げられることも魅力の一つであると感じています。

レジデントの3年間を通して、副作用の軽減や延命効果の向上に貢献するための基礎を築き上げ、将来的にはがんと闘う患者さんに希望と笑顔を届けられる薬剤師になれるように精進してまいります。



国立がん研究センター中央病院
今井 唯人 (群馬県出身)

現在、多種多様な抗がん剤が上市されており、副作用も患者さんごとに様々です。抗がん剤治療では、ほとんどのケースで副作用を経験するため、薬の専門家である薬剤師が副作用マネジメントにおいて果たすべき役割は大きいと感じています。私は、がん治療において適切な副作用マネジメントを行い、患者

さんをサポートできる薬剤師になりたいと思い、当院の薬剤師レジデントを志望しました。

当院のレジデント制度では、3年間を通じてがん医療における臨床及び基礎の幅広い知識と技術を修得できます。また、臨床だけでなく、日々の業務で生じる問題の解明をめざした形で研究活動を通じて、科学的思考力を修得できると考えています。当院は、主要ながん、いわゆる五大がんだけでなくアンメットメディカルニーズの多い希少がんなどの診療に携わることができ、がんを学ぶ環境としてとても恵まれていると感じています。高い志を持つ先輩方や同期の仲間と切磋琢磨しながら、がん医療の現場で活躍できる薬剤師になれるよう、日々努力していきたいと思っています。



国立がん研究センター中央病院
佐藤 春菜 (北海道出身)

私は高度医療に対応した臨床業務を実践し、臨床業務で得た疑問を研究へ還元できる薬剤師になりたいと思っています。臨床・研究・教育の3つの制度からなる当院のレジデントを経験することで、そのような薬剤師像に近づくことができると思い、当院を志望しました。がん治療に興味を持つようになった

きっかけは、がんに罹患した親戚が過酷な闘病生活を送る様子を目の当たりにしたからです。身近な人が罹患するという経験をjえて、がん治療をしている患者さんの支えになりたいと思うようになりました。

当院では、薬剤師の先生方の指導のもと、セントラル業務で基礎固めをした後に臨床業務で薬学的介入を行います。臨床業務で生まれた疑問を研究へ還元することもでき、基礎固めから研究まで一貫した教育を受けることができます。また、多くの研修や勉強会等で、他の医療従事者とのコミュニケーションを図ることも可能です。当院は、薬剤師ががん治療を学ぶための環境が整っており、他にはない大きな魅力だと感じています。今後、がん治療を受ける患者さんは増え、治療はより多様化、個別化していきます。症例数の多い当院で経験を積み、一人でも多くのがん患者さんが希望をもって当たり前の生活を送れるように、力強くサポートしていただける専門性の高い薬剤師として成長していきたいです。



国立がん研究センター中央病院
四戸 孝幸 (青森県出身)

がんと闘う人々やそのご家族を身体的、さらには精神的に支えられるがん専門薬剤師になりたいと考え、当院の薬剤師レジデントを志望しました。

実務実習と就職活動を通して、これからの薬剤師には専門的な知識を活かした研究活動と臨床業務の両方が求められることに気づきました。険しい道ではありますが、この2つに取り組むことでワンランク上の薬剤師になれると考えています。

当院のような恵まれた環境に身を置けるのも、周りの人たちのおかげです。家族をはじめ、これまでの道のりをサポートしていただいた多くの人たちに感謝して、3年間ひたむきに目の前の課題と向き合っていきたいと思っています。そして、少しでもがん医療に貢献できればと考えています。

これから始まるレジデント生活に対する期待感と緊張感が入り混じった絶妙な感覚をもちながら、個性豊かな同期たちと切磋琢磨してまいります。当院の素晴らしい先生方の背中が、現時点では遠い遠い先に感じていますが、いつか追いつけることを信じています。



国立がん研究センター中央病院
廻 ひとみ (大阪府出身)

私のがん治療に興味を持った理由としては、学生の頃、身内のがんに罹患し、治療を行っても徐々に体調が悪化するのを目の当たりにして、自分もがん治療に携わり、患者さんにより良い治療を提供したいと思ったからです。

がん治療は日々進歩しており、患者さんの治療に貢献するには、薬学的視点での臨床及び基礎の幅広い知識と技術の修得が必要だと感じています。当院のレジデント制度では、3年間と限られた時間の中で、1年目はセントラル業務を通して病院薬剤業務の基本的技術の修得に励み、2年目から、実際の臨床現場を通してがん薬物療法に関する臨床及び基礎の幅広い知識と技術を学び、臨床薬剤師として成長することが出来ます。当院では、病棟や薬剤師外来などを通して、患者さんと深く関わり、チーム医療の中でより質の高い治療提供に貢献することが出来ます。当院のレジデント制度は、がん治療に深く携わりたいと考えている学生や薬剤師にとって、最適な環境が整っている魅力的な制度なのではないか、と考えています。

私は、患者さんに最適な治療を提供できる高度な専門性を持つ薬剤師になるために19期レジデントとして一生懸命頑張ります。

メッセージ レジデント19期生より



国立がん研究センター東病院 伊香 慧斗 (栃木県出身)

私のがん領域を学びたいと思うようになったのが病院実習での経験でした。そこでお世話になった指導薬剤師ががん患者さんの不安に寄り添い、医者と共同し、最善を尽くそうと力を注ぐ姿に憧れました。

私自身がそなる為には、豊富な実務経験と相談できる先輩薬剤師が必要だと考えました。

当院では2ヶ月の初期研修後から各診療科をローテーションするため、薬剤師1年目から入院患者さんの薬剤指導に携わることができます。その中で分からないことや困ったことがあれば先輩薬剤師に相談することができ、私も頻りに相談させていただいております。

また、日々の業務や薬剤指導で生じた疑問を研究することができる点も当院の魅力の一つだと考えます。研究を進める際にも指導薬剤師は必ず就くため、悩んだ際には相談できます。

自己研鑽、業務、研究とやるべきことが多く大変と感じることはありますが、ここまで充実した時間を1年目から過ごせることは非常に恵まれていると考えます。

皆様と一緒に切磋琢磨できる日々を楽しみにしております。興味があれば一度見学にお越しください。



国立がん研究センター東病院 篠澤 宏介 (東京都出身)

私が当院を志望した理由は2つあります。1つ目は、高校3年生の時にがんを罹患したことで、がん医療に興味をもち、今度は患者ではなく、医療者の立場でがんに向き合い、がん患者さんに貢献したいと思ったからです。2つ目は実習先で当院のレジデントを卒業された先生と出会い、充実したレジデント生活についてのお話を聞くことができたからです。

レジデント1年目の業務は調剤、注射、混注などの中央業務に加えて、診療科業務、研究など多岐にわたります。毎日発見や疑問があり、大変ではありますが、スタッフの薬剤師の先生やレジデントの先輩のご指導、同期との支え合いもあり刺激的で充実した毎日を送ることができています。頼るばかりもよくないですが、自分のデスクの横には基本レジデントの先輩がいるので、話しかけやすい環境なのも嬉しいです。

診療科業務ではスタッフの薬剤師の先生と話し合い、薬剤師として何ができるかを考え、制吐薬や鎮痛剤などの薬を医師に提案したりします。もちろんうまくいかないこともあります。自分の提案で患者さんがよくなった時はやりがいがあります。日頃の診療科業務では患者さんを少しでも笑顔にできるように努めています。

がんに興味があればぜひ当院に足を運んでみてください。1日体験プログラムもやっています。私は知識も経験もまだまだ未熟ですが、皆様と一緒に成長できればと思います。一緒に働ける日を楽しみにお待ちしております！



国立がん研究センター東病院 須田 莉央 (埼玉県出身)

がん治療では身体的、精神的に多くの苦痛が伴います。私はこのような患者さんに寄り添いながらチーム医療を通してがん治療に貢献することが出来る薬剤師になることを目指しています。がん患者さんに最善な治療を提供する為には、私はまず、がん薬物療法の知識をしっかりと身に付けることが大切であると

考えます。当院のレジデントプログラムでは、カリキュラムがしっかりと組まれており、がん領域における専門性の高い知識もった先輩薬剤師からご指導を頂くことが出来ることや、患者さんや多職種の方々や接する機会も多い為、幅広い視点も兼ねながら、がん領域の知識を深めることが出来ると考え当院を志望しました。

レジデント生活は、セントラル業務、診療科業務、研究、自己研鑽とやるべきことが多くあります。想像以上に大変な毎日ですが、1年目から薬剤師としてここまで沢山の経験ができることは、非常に恵まれていると思います。診療科業務では、先輩薬剤師の指導のもと患者さんの治療に介入できた時は、大きなやりがいを感じます。残りのレジデント生活でも多くのことを吸収し、患者さんに貢献できるよう、日々精進していきたいと思っています。

がん領域に少しでも興味のある方は、ぜひ見学にいらしてください。皆様と一緒に働くことを楽しみにしています。



国立がん研究センター東病院 永久保 真由 (東京都出身)

私が当院のレジデントを志望したきっかけは、5年次の病院実習でした。実習先の病院で、当院のレジデント卒の薬剤師が、がん治療において入院から外来まで幅広く活躍する姿を目にし、私もがん領域に精通した薬剤師を目指したいと考えるようになりました。その目標を達成するには、当院のレジデントプログラムが最適

だと感じました。3年間で多くのことを学べる充実したカリキュラムが組まれており、大変魅力的です。特に、当院では入職1年目からセントラル業務だけでなく、診療科業務にも携わることができます。セントラル業務に加え、専門的な知識を要する診療科業務を同時に学ぶことは想像以上に忙しく、大変ではありますが、その分、大きなやりがいを感じています。

また、仕事が大変な時や辛い時に支え合える同期の存在も、当院のレジデントの魅力の一つだと感じています。さらに、患者指導などで行き詰まった際には、経験豊富な薬剤師の先生方やレジデントの先輩方が親身にアドバイスをくださり、恵まれた環境で学んでいることを日々実感しています。

まだまだ未熟で、自分の無力さを痛感することも多いですが、成長を積み重ねながら、悔いのない3年間を過ごしたいと考えています。当院では、レジデント体験プログラムや見学会も実施しておりますので、がん領域に興味のある方は、ぜひ一度見学にお越しください。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております。



国立がん研究センター東病院 西崎 真希 (神奈川県出身)

私は大学で抗癌剤について学んだ時、殺細胞性の薬剤だけでなく抗体製剤や免疫にかかわる作用機序をもつ薬剤があることを知り、抗癌剤に興味を持ちました。癌という疾患や治療、副作用を実臨床で経験したいと思い、大学6年次ではアドバンスト実習に参加し半年間学びました。私の指導薬剤師が患者さんに

治療の選択肢となるレジメンについて紙に書いて1つずつ丁寧に説明している姿を見て、自分も同じような薬剤師になりたいと思いました。その患者さんを私が担当することになり、継続して内服している薬剤の再指導を依頼され、指導すると「種類が多くて何の薬を飲んでいるか分からなかった。何のために飲んでいるか分かって安心した。」と話されたことが今でも印象に残っています。

大学卒業後は癌の薬物治療を学びたく、当院を志望しました。当院のレジデントは1年目から病棟とセントラルを掛け持つため日々大変ですが、他施設より経験できることが多いと思います。

癌領域に興味のある方はぜひ当院と一緒に学びましょう。



国立がん研究センター東病院 福田 歩未 (山口県出身)

私は小学3年生の時、祖父をがんで亡くしたことをきっかけに、がん患者さんの生活に密接に関わる薬の分野で治療に対する不安や疑問を取り除き、少しでも力になりたいと思うようになり、薬剤師を目指しました。大学での実習を通じて、多くの知識と経験を武器に、より良い医療の提供に貢献し、患者さんから信頼される

専門薬剤師の姿を見て強く憧れを抱きました。そして、がん分野で専門性を磨こうと決意しました。当院のレジデント制度を希望した理由は、最高峰のがん医療を提供する病院で、現場で活かせる高度な技能と知識を習得し、がんに関わる薬剤師としての基盤を築きたいと考えたからです。また、1年目から研究を進め、外部に発信するスキルも身につけられる点に魅力を感じました。

入職後は業務と並行してサマリー提出や症例発表などさまざまな行事があり、さらに研究や自己研鑽も同時に進めることで、非常に充実した日々を送っています。日々のセントラル業務で学ぶことも多いですが、診療科ローテーションを通じて、各分野に精通した先輩薬剤師にご指導いただきながら、さらに知識を深めることができていると実感しています。この恵まれた環境の中で、日々精進していきたいと考えています。



国立がん研究センター東病院 村田 優太 (千葉県出身)

私が東病院の薬剤師レジデントを志望した理由は、がん医療に貢献したいと考えたからです。このように考えるようになった理由は、がんという疾病に関わる機会が多かったためです。私は、身近な人をがんで

亡くし、私自身も小学生のときにがんを患いました。このような経験を経て、今度は自分が患者様との距離に近い病院薬剤師として、がんで苦しんでいる人たちの力になりたいと思うようになりました。東病院では、3年の研修期間で、多職種との連携に重要なコミュニケーションスキルに加え、がん医療に関する高度な技能と知識を身に付けた専門性の高い薬剤師の養成を行っています。

実際に、セントラル業務や研究などを行っている際にも、こんなにも教えていただけるものなのかと、恵まれた環境に感謝する日々です。レジデントとしての生活は大変で、業務終了後に研究や病棟時間などになることが多いですが、同じ環境に身を置いている先輩方や同期、また、スタッフの薬剤師の先生方に支えられながら日々過ごしています。

ここまで恵まれた環境は、数少ないと思います。がん領域に興味がある方は、ぜひ見学にお越しください。みなさんにお会いできる機会を楽しみにしております...

メッセージ がん専門修練薬剤師より



国立がん研究センター中央病院
川原 出真唯 (11期がん専門修練薬剤師)

生涯でがんに罹患する割合は2人に1人と言われる現在、医療に携わってれば、がん患者さんと接する機会が増えると感じ、また、がん種や患者さんごとに多種多様な治療法が存在し、がん治療が複雑化している背景の中で、薬剤師としてがん治療に貢献したいと思うようになり、私は薬局薬剤師から病院薬剤師へ転職を志望しました。当院を志望した理由は、高度で質の高いがん治療が実践されている環境の中で学びたいという思いとともに、経験豊富なスタッフの先生方のサポートのもと、様々な症例と向き合う日々の中で基礎から臨床までの幅広い知識や技術を習得する環境が整っている点に魅力を感じたためです。また、がん医療に精通する多職種の方々と質の高いチーム医療を展開できる環境に身を置けるのは、がん専門病院ならではの特徵ではないかと感じ、当院のがん専門修練薬剤師になろうと決意しました。今後、病院薬剤師として患者さんに医療を提供する立場になるのであれば、薬の専門家であることの自覚と責任をもって患者さんとそのご家族に接したいと思いき、知識や経験を蓄積しながら、この先、患者さんから頼りにされる存在になれるよう日々精進してまいります。

メッセージ がん専門修練薬剤師より



国立がん研究センター東病院
加藤 紘大 (11期がん専門修練薬剤師)

私は、大学5年生時の病院実習先が当院でした。実習前は製薬企業への就職活動に力を入れており、病院薬剤師になるつもりはなかったのですが、実習期間内に非常に貴重な経験を積むことができました。臨床だけでなく研究のことも1から学ぶことができ、“勉強の仕方”を勉強する最高の環境と考え、薬剤師レジデントへの道を志しました。就職後は、ルーチン業務や臨床業務、研究活動など多岐にわたる活動に身を打ち込み、非常に充実した日々を送っております。当院の魅力は、レジデントを取り巻く指導体制が充実しており、そのような文化が病院全体で醸成されていることだと思います。レジデント同士は先輩・同期・後輩が同じ部屋にデスクを有しており、日々闊達なディスカッションが可能なことも魅力の1つです。私自身はレジデント3年間を終えましたが、連携大学院制度も活用しておりさらなる研究活動に身を入れるため、がん専門修練薬剤師として従事しております。少しでも当院に興味を抱いた方は、1日体験や半日体験という形で、見学も受け入れております。そこで若手のレジデントとの座談会も用意されておりますので、就職活動のことを含め何でもご相談ください。1人でも多くの方とお会いできることを楽しみにしております。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



交通案内

■ 築地キャンパス

- 中央病院
- 研究所
- がん対策研究所



〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511

- ・都営地下鉄 大江戸線 築地市場駅 A3 番出口から徒歩 1 分
- ・東京メトロ 日比谷線 築地駅 2 番出口から徒歩 5 分
- ・都営地下鉄 浅草線 東銀座駅 6 番出口から徒歩 5 分
- ・東京メトロ 有楽町線 新富町駅 4 番出口から徒歩 10 分

■ 柏キャンパス

- 東病院
- 先端医療開発センター



〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
TEL 04-7133-1111

- ・つくばエクスプレス 柏の葉キャンバス駅西口から、東武バス（国立がん研究センター経由）江戸川台駅東口行きまたは柏の葉公園循環行き 6 分 国立がん研究センター下車またはタクシー 4 分
- ・JR 常磐線・東京メトロ千代田線・東武野田線 柏駅西口から、東武バス国立がん研究センター行き 30 分またはタクシー 20 分
- ・東武野田線 江戸川台駅東口から、東武バス（国立がん研究センター経由）柏の葉キャンバス駅西口行き 10 分 国立がん研究センター下車またはタクシー 7 分
- ・羽田空港から、東武・京浜急行高速バス柏駅西口行き 1 時間 15 分
- ・常磐自動車道 柏 IC. 千葉方面出口から 国道 16 号線へ 500m 先を右折 5 分

出願に関する照会及び採用願書用紙の請求先

国立研究開発法人 国立がん研究センター

中央病院 人材育成センター専門教育企画室
E-mail: kyoiku-resi@ncc.go.jp
電話番号: 03-3542-2511(内線2249)

東病院 人材育成センター専門教育企画室
E-mail: kashiwa_kyoren@east.ncc.go.jp
電話番号: 04-7133-1111(内線5551)



国立研究開発法人

国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

<http://www.ncc.go.jp/>